

JLU第14期 2022年末闘争スタート 年末要求アンケートにご協力を



アンケート
QRコード

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 518 (14-01)
2022年 09月 13日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

9月8日、日本航空ユニオンは定期組合大会を開催し、第14期がスタートしました。そして2022年末闘争はすぐ始まります。ウィズコロナが加速し、旅客需要が戻っている今が労働組合にとっても反転攻勢の時期です。良い要求を作って会社に届けましょう。WEBでも実施中！【裏面は年末アンケートとなっています】

年末のスケジュールと取り組み

9月9日
アンケート開始

10月3日
アンケート締切り

10月4日
年末要求(案)作成

10月12日
中央委員会
要求決定・提出

11月01日
回答指定日

11.18
航空の山場

幅広く 声を集めます

「JAL グループ全社員アンケート」でなるべく多くの声を集めて要求作りに役立てます。夏の一時金は1.5ヵ月まで回復しましたが、「生活に必要な水準は年間4.0ヵ月」ということは会社も認めています。この年末に必要な一時金を改めて聞きます。それ以外にも、拘りたい手当や、復便を支える中での職場の切実な要求もコメント欄にお書きください。職場の皆さんの声が強い要求になります。

集めた声を会社へ

10月3週目から1か月間が交渉期間となります。訴えたいことがありましたら、JLUの組合役員にお伝えください。毎日の出勤が足りなく、疲弊している職場もありますが執行委員を交渉に送り出すことで職場改善につながります。また、羽田・成田のJLU組合員なら今からでも執行委員になって直接団交に参加することができます。主役はあなたです！

急速な物価上昇 家計を支える一時金を

9月に入り「値上げの秋」が本格的に始まりました。食品の値上げだけでも年内に2万品目突破すると言われており、そのうち9～11月に予定されている値上げは計1万品目に迫る勢いです。これまで油や小麦の価格高騰で、サラダ油やパン・麺類などの価格が上がっていましたが、輸送費の高止まりや円安を背景に加工食品、飲料などあらゆる食品の値上げが相次ぎます。生鮮食品を除き一度引き上げた商品の価格は下がらないと考えられており、日本でも本格的なインフレ時代を迎えることになりそうです。



生活は再建途上 安心して働ける収入に

食品以外でもさまざまな値上げが家計負担を押し上げ、22年度は年10万円(2人世帯以上)増えると試算されています。一方で、私たちJALグループ社員は2年続いた年収ダウンで生活は大きく変わり、借金が増えている家庭もあります。すでに特別貸付の返済も始まっているため、定昇があっても月々の手取りが減っていることも。物価高騰に対応するためにも年末一時金は重要です。

夏闘の団交で会社は一時金について、「第2四半期の黒字化を達成し、本当に目標が達成できた暁にはもう間違いなく、早く安定的な水準をお支払いしたい。」と述べました。11月初旬には上期決算が示されます。「安定的な水準」も大事ですが、これまでの苦労や疲弊した家計のことも考慮した年末回答を期待します。

KLMオランダ航空契約制CAの裁判を支援

無期転換逃れの雇止め撤回を求めて航空労働者が団結してたたかっています。
日本航空ユニオンも引き続き裁判傍聴や署名で協力します。
直近では… 9月15日 9:50～17:00 東京地裁(詳しくは組合本部へ確認を)